

【公開シンポジウム開催予告】

日本工学会 技術倫理協議会 第12回公開シンポジウム

＜技術倫理の最前線Ⅱ＞

～科学技術と社会をどう結びつけるか～

日時：平成28年11月22日（火）13:00～17:20（12:30より受付開始）

会場：東京理科大学 森戸記念館第一フォーラム（地下一階）〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2

開催趣旨：最近の科学技術の巨大化、複雑化、高度化は、その社会への影響が今まで以上に益々大きくなりつつあります。このため、社会に深く係わることになる科学技術および科学技術者の在り方について、倫理的な面から考察していく必要性も一層高まっています。

前回の第11回公開シンポジウムでは、＜技術倫理の最前線～社会に深く係わる技術の倫理問題を考える～＞として、エンハンスメント、地球温暖化、自動運転技術等を事例として、その倫理的課題や対応策、科学技術者のあり方ほかを議論しました。

今回は、第二弾＜技術倫理の最前線Ⅱ＞として、次世代の革新的新技術や社会インフラ技術などを事例として、科学技術が社会に受け入れられるために、科学技術者自身および学協会、教育組織、企業等が果たすべき役割と検討すべき課題、解決策などについて議論します。

主催：公益社団法人日本工学会 技術倫理協議会

【協議会会員】電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学教育協会、日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会

会場アクセス：JR 飯田橋駅西口 神楽坂

東京メトロ（有楽町線・南北線・東西線）飯田橋駅 神楽坂

(<http://www.jfes.or.jp/about/secretariat.html>)

交流会：シンポジウム終了後、意見交換・交流会を開催予定です。

参加費：シンポジウム資料代：1,000円（予定）。

意見交換・交流会（希望者のみ、事前予約制）：3,000円（予定）。

いずれも当日会場受付において申し受けする予定です。

参加申込方法：10月上旬に正式なプログラムおよび参加募集を本ホームページで公開予定です。

問合せ先：公益社団法人日本工学会事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2 東京理科大学森戸記念館3階

E-mail:eng@jfes.or.jp、Tel:03-6265-0672、Fax:03-6265-0673

URL:<http://www.jfes.or.jp/>

***** プログラム（予定：詳細後報）*****

1. 講演（課題提供）13:00～15:55（休憩：15:55～16:10）

＜講演予定者：順不同/詳細後報＞

- ・村上 祐子氏 東北大学文学部 准教授
(仮題：AIと社会の関係について)
- ・皆川 勝氏 東京都市大学工学部 教授
(仮題：3.11と土木技術者の倫理)
- ・永井 正夫氏 一般財団法人日本自動車研究所 代表理事、所長
(東京農工大学 名誉教授)
(仮題：自動運転、安全システムについて)
- ・橋本 義平氏 有限会社 SYBRAINS 代表
(仮題：技術者倫理と組織)
- ・小林 傳司氏 大阪大学 副学長
(仮題：社会的合意形成：リスクコミュニケーションのあり方)

2. パネルディスカッション 16:10～17:20

テーマ：「科学技術と社会をどう結びつけるか」

パネリスト：各講演者

コーディネーター：札野 順氏 東京工業大学教授（予定）

3. 意見交換・交流会 17:40～19:00（予定）